

=岐阜高専=

第1回FD講演会を開催

岐阜高専は、5月11日に「第1回FD講演会」を同校多目的ホールにおいて開催した。本講演会は、教育改革推進の取組みであるFD研修として、年間2回の開催が計画されている。

今回は、同校電気情報工学科 田島孝治講師による「学生の授業や学習への動機づけを改善させる方法 — CTT+のインストラクションスキルメソッド—」と題した講演が行われ、66名の教職員が参加した。同氏は、平成26年度にCTT+ Classroom Trainerの認定を受け、翌年度には国立高等専門学校機構教育研究調査室が実施した「CTT+ホルダ研修」を受講した。

講演は、学生のやる気を高め、主体性を育てるスキルについて、CTT+ホルダ研修の資料を引用したスライドによる解説及びペアワークにより進められた。学生の学ぶ意欲を高める動機づけアクティビティは、新しい教科やトピックを学ぶ「前」に行うことが大切であり、受講者の「経験」に結びつけること、学習内容が活かせる「場面」をイメージさせること、そして「参加型」のアクティビティを使うことがポイントであることのアドバイスがあった。

講演終了後には大義である教育改革推進の在り方に及ぶ活発な意見交換が行われ、同校教職員の授業改善についての意識が一層深まる良い機会となった。



講演する田島孝治講師



ペアワークを導く田島孝治講師